

# 景況調査（第102回 企業経営者の景気見通し）

## 三重県・愛知県主要業種の景気見通し

（2020年度下期実績見込み・2021年度上期見通し）

百五総合研究所では、半年ごとに三重県内および愛知県内の主要業種の事業所の皆様に対し景気見通しのアンケート調査を実施し、結果をとりまとめています。

お忙しいなかご協力いただきました経営者の皆さまには厚く御礼申し上げます。

なお、2016年度上期より、愛知県分の調査結果につきましては、三重県分とは別にとりまとめています。また今回、特別調査として「新型コロナウイルス感染拡大による事業活動への影響」について取りまとめています。

### [目次]

調査の概要	1
I. 三重県	
調査結果の要旨	2
1. 業況判断	3
2. 売上高	6
3. 販売数量・在庫量	8
4. 販売価格・仕入価格	9
5. 採算・資金繰り	10
6. 設備投資	11
7. 雇用	15
8. 賞与	16
9. 賃金改定	17
10. 経営上の問題	18
II. 愛知県	
愛知県内の景気見通し	19
III. 特別調査	
新型コロナウイルス感染拡大による事業活動への影響について	24
IV. 生の声	29

## [調査の概要]

1. 調査対象：
  - ①三重県内の事業所 1,187 先 (回答 460 先/回答率 38.8%)
  - ②愛知県内の事業所 443 先 (回答 106 先/回答率 23.9%)
  - (合計調査対象数 1,630 先 (回答 566 先/回答率 34.7%))
2. 調査時期： 2021年1月中旬～1月下旬
3. 調査対象期間： 2020年度下期(20年10月～21年3月)実績見込み(文中表記「今期」)  
2021年度上期(21年4月～9月)見通し(文中表記「来期」)
4. 調査方法： アンケート票送付及びwebアンケート
5. 回答状況

		三重県		愛知県		全回答	
		回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
全企業		460	100.0%	106	100.0%	566	100.0%
規模別	大・中堅企業(資本金1億円以上)	53	11.5%	12	11.3%	65	11.5%
	中小企業(資本金1億円未満+個人事業)	407	88.5%	94	88.7%	501	88.5%
業種別	製造業	176	38.3%	38	35.8%	214	37.8%
	食料品(飲料含む)	30	6.5%	3	2.8%	33	5.8%
	繊維	8	1.7%	2	1.9%	10	1.8%
	印刷	9	2.0%	0	0.0%	9	1.6%
	石油・化学	13	2.8%	2	1.9%	15	2.7%
	窯業・土石	15	3.3%	0	0.0%	15	2.7%
	一般機器	14	3.0%	3	2.8%	17	3.0%
	電気機器	16	3.5%	4	3.8%	20	3.5%
	輸送用機器	26	5.7%	7	6.6%	33	5.8%
	その他製造	45	9.8%	17	16.0%	62	11.0%
	非製造業	255	55.4%	68	64.2%	323	57.1%
	建設	72	15.7%	20	18.9%	92	16.3%
	不動産	13	2.8%	4	3.8%	17	3.0%
	卸売	25	5.4%	17	16.0%	42	7.4%
	小売	42	9.1%	7	6.6%	49	8.7%
	運輸・倉庫	30	6.5%	7	6.6%	37	6.5%
	観光・宿泊	24	5.2%	1	0.9%	25	4.4%
	サービス(旅行代理店、情報通信、飲食店含む)	49	10.7%	12	11.3%	61	10.8%
	地場産業	29	6.3%	-	-	29	5.1%
製材	6	1.3%	-	-	6	1.1%	
真珠養殖	1	0.2%	-	-	1	0.2%	
真珠加工販売	3	0.7%	-	-	3	0.5%	
銑鉄鋳物製造	3	0.7%	-	-	3	0.5%	
萬古焼製造	6	1.3%	-	-	6	1.1%	
萬古焼卸売	10	2.2%	-	-	10	1.8%	
地域別	北勢	191	41.5%	-	-	191	33.7%
	中勢	119	25.9%	-	-	119	21.0%
	南勢	69	15.0%	-	-	69	12.2%
	伊賀	48	10.4%	-	-	48	8.5%
	東紀州	33	7.2%	-	-	33	5.8%
	愛知県	-	-	106	100.0%	106	18.7%

## 6. その他

○本文中の「BSI」とは、ビジネス・サーベイ・インデックスの略称。本調査では、下記の算式で算出している。本調査では、前年同期と比べた「上昇」「下降」の変化方向を問うている。

$$BSI = \frac{\text{上昇(増加・好転)事業所数} - \text{下降(減少・悪化)事業所数}}{\text{有効回答事業所数}} \times 100$$

○調査対象は「事業所」であるが本文及び図表中では「企業」と表記している。

○年次は西暦表記とし、本文及び図表中では年次を西暦下2桁で表記している。

## 【調査結果の要旨】

**業況感は厳しいながら改善、来期は大きく上向く見通し。**

## 【概況】

三重県内の企業の業況判断 BSI は、2020 年度下期は△49.2 と大幅なマイナスながら、20 年度上期（△57.9）および前回調査の今期見通し（△56.4）を上回り改善した。21 年度上期は△22.6 となり、大幅に改善する見通し。新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、大きく落ち込んだ前期から、水準は厳しいものの大きく上向く見通しとなった。

業況判断 BSI は、今期は調査対象全業種でマイナスとなったが、来期は多くの業種で改善し、2 業種ではプラスとなった。製造業・非製造業ともに改善傾向にあるが、製造業の改善幅が大きい。企業規模別にみると、大・中堅企業、中小企業のいずれも今期・来期ともに改善傾向にある。とくに、前期落ち込みの大きかった製造業の大・中堅企業は、今期・来期ともに最も改善し、来期は2桁プラスに転じる見通しとなっている。

業種別にみると、前期△100 と最も厳しかった観光・宿泊は、今期も厳しいものの改善、来期は△4.5 と大きく改善する見通しとなった。また、電気機器、輸送用機器も前期は大幅なマイナスであったが、今期は大きく改善、来期、電気はマイナス幅縮小、輸送はプラスに転じる見通しとなった。今期マイナス幅が小さいのは、小売、建設、電気機器、輸送用機器、窯業・土石などである。来期は、一般機器と輸送用機器でプラスとなるほか、多くの業種でマイナス幅が縮小する見通しとなった。

設備投資（投資額 500 万円以上）を実施する企業割合は上昇し2期ぶりに40%を超えた。

人員の不足感は再び強まり、製造業・非製造業ともに「不足」が「過剰」を上回った。冬季賞与を支給する企業割合は低下し、総支給額は製造業で前年冬と比べて「減少」が「増加」を大きく上回った。賃上げした企業割合は前年の約7割から6割弱に低下。経営上の問題では、「売上不振」はほぼ横ばい、「人材不足」が再び上昇した。

BSI	判断	2020 年度 上期 (前期)	2020 年度 下期 (今期)	2021 年度 上期見通し (来期)
業況判断 BSI	今期・来期ともマイナス幅縮小	△57.9	△49.2	△22.6
大・中堅企業	今期マイナス縮小、来期はプラスに	△66.7	△47.2	7.5
中小企業	今期・来期ともマイナス幅縮小	△56.6	△49.5	△26.6
売上高 BSI	今期・来期ともマイナス幅縮小	△54.1	△41.7	△15.2
販売数量 BSI	今期・来期ともマイナス幅縮小	△56.6	△43.9	△17.4
在庫量 BSI	今期マイナス幅縮小、来期は横ばい	△4.5	△2.9	△2.9
販売価格 BSI	今期ほぼ横ばい、来期はマイナス幅縮小	△13.9	△14.9	△10.5
仕入価格 BSI	今期・来期ともプラス幅拡大	8.1	12.1	20.8
採算 BSI	今期・来期ともマイナス幅縮小	△46.3	△32.7	△15.7
資金繰り BSI	今期マイナス幅縮小、来期はほぼ横ばい	△23.1	△11.7	△10.6
設備過不足感	不足感やや強まる	2.4	7.2	—
設備投資実施割合	今期上昇し2期ぶりに40%超、来期もやや上昇	37.2%	41.3%	43.8%
雇用過不足感	不足感やや強まる	13.5	28.7	—

(※) 過不足感は「不足」－「過剰」。「不足」は「不足」＋「やや不足」の割合、「過剰」は「過剰」＋「やや過剰」の割合。

## 1. 業況判断 (自社の属する業種の景気)

**業況判断BSIは大幅なマイナスも前期・今期見通しより改善。来期は大きく改善。**

### ◆全企業

業況判断BSIは、2020年度下期(以下、今期)は $\Delta 49.2$ と大幅なマイナスで、4期連続のマイナスとなったが、2020年度上期(以下、前期)( $\Delta 57.9$ )及び今期見通し( $\Delta 56.4$ )を上回り改善した。

2021年度上期(以下、来期)は $\Delta 22.6$ となり、大幅に改善する見通し。

### ◆業種別 …製造業・非製造業ともに大幅なマイナスも前期より改善。製造業の改善幅大きい。

※ 今期BSIのマイナス幅の小さい業種順に記載。

#### ◇製造業 …今期( $\Delta 50.0$ )は前期比+13.2ポイント。来期( $\Delta 15.5$ )はさらに改善。

- 【電気機器】 今期マイナス幅は大幅に縮小( $\Delta 85.7 \rightarrow \Delta 37.5$ )。来期さらに縮小。来期は販売数量が0.0に、採算はプラスに。AI活用ロボット等IT関連好調。
- 【輸送用機器】 今期マイナス幅は大幅に縮小( $\Delta 81.5 \rightarrow \Delta 38.5$ )。来期はプラス(+3.8)に。来期は販売数量、採算ともプラス。自動車関連は復調、自転車は好調、航空機関連は減少。
- 【窯業・土石】 今期マイナス幅は縮小( $\Delta 57.1 \rightarrow \Delta 38.5$ )。来期さらに縮小。今期・来期ともに販売価格がプラス。
- 【食料品】 今期マイナス幅はほぼ横ばい( $\Delta 37.8 \rightarrow \Delta 40.0$ )。来期は縮小。
- 【その他製造】 今期マイナス幅は縮小。来期さらに縮小。
- 【石油・化学】 今期マイナス幅はほぼ横ばい。来期はマイナス幅が大幅に縮小。
- 【一般機器】 今期マイナス幅はやや拡大( $\Delta 64.0 \rightarrow \Delta 71.4$ )も、来期は大幅に改善しプラス(+7.1)に。来期は販売数量と採算がプラスに。自動車、半導体向け等で需要増の企業も。
- 【繊維】 今期マイナス幅は縮小も大幅なマイナス。来期は大幅に縮小。
- 【印刷】 今期マイナス幅は拡大。来期は縮小。

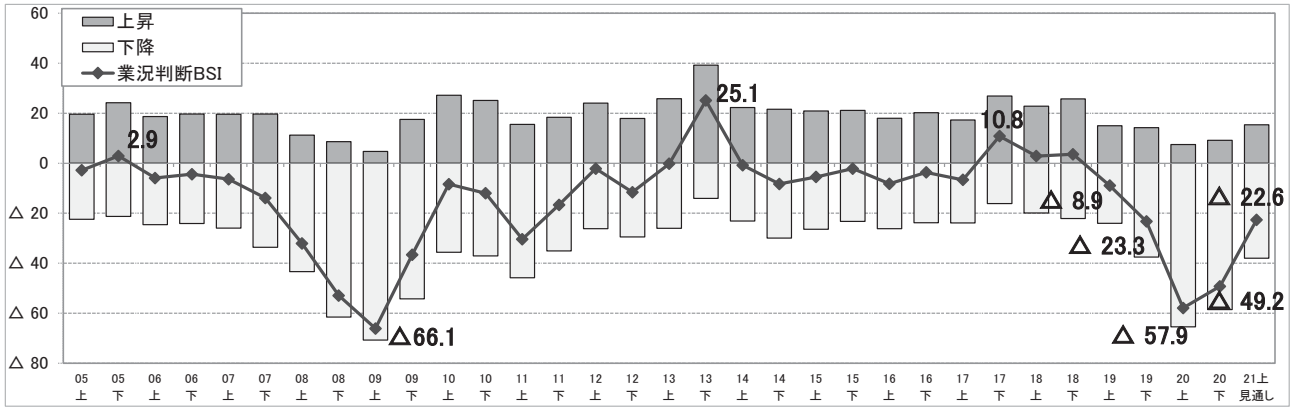
#### ◇非製造業 …今期( $\Delta 45.1$ )は前期比+5.7ポイント。来期( $\Delta 23.0$ )はさらに改善。

- 【小売】 今期マイナス幅は大幅に縮小。マイナス幅は全業種中で最も小さい( $\Delta 21.4$ )。来期はやや拡大。来期は販売価格がプラスに。新車・中古車、食品、家庭用ガス、ルムウェア、アウトドア商品、家庭菜園販売など巣ごもり需要増。
- 【建設】 今期マイナス幅は拡大も、マイナス幅は全業種中で3番目に小さい( $\Delta 34.7$ )。来期はほぼ横ばい。
- 【サービス】 今期はほぼ横ばい。来期はマイナス幅大幅に縮小。
- 【不動産】 今期マイナス幅はほぼ横ばい。来期は縮小。
- 【卸売】 今期マイナス幅はやや縮小。来期は大幅縮小。来期は販売価格プラスに。
- 【運輸・倉庫】 今期マイナス幅はほぼ横ばい( $\Delta 73.3$ )。来期は大幅に縮小。
- 【観光・宿泊】 今期厳しいもののマイナス幅縮小( $\Delta 100.0 \rightarrow \Delta 78.3$ )。来期は大幅に縮小( $\Delta 4.5$ )。来期は販売数量プラスに。Go To再開、個人客、国体等期待。

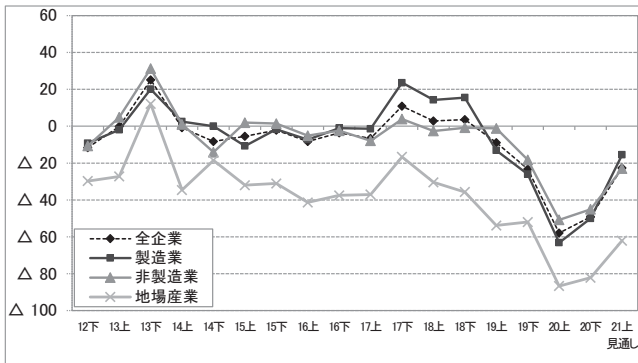
#### ◇地場産業 …今期( $\Delta 82.1$ )、来期( $\Delta 62.1$ )とも改善も大幅なマイナス続く。

I. 三重県

■ 業況判断BSIの推移



■ 業況判断BSI（業種3区分別）



■ 業況判断BSI（業種別・企業規模別）の推移

		(前回調査時点)										
		16下	17上	17下	18上	18下	19上	19下	20上	20下 (見通し)	20下	21上 (見通し)
全企業		△ 3.6	△ 6.7	10.8	2.9	3.6	△ 8.9	△ 23.3	△ 57.9	△ 56.4	△ 49.2	△ 22.6
規模別	大・中堅企業	△ 2.8	3.8	26.2	14.7	6.1	△ 6.3	△ 23.8	△ 66.7	△ 55.6	△ 47.2	7.5
	中小企業	△ 4.1	△ 8.7	8.2	0.7	3.2	△ 9.3	△ 23.2	△ 56.6	△ 56.6	△ 49.5	△ 26.6
業種別	製造業	△ 1.0	△ 1.4	23.6	14.3	15.5	△ 13.1	△ 26.0	△ 63.2	△ 57.9	△ 50.0	△ 15.5
	食料品	4.5	△ 16.7	△ 4.7	△ 7.7	△ 2.7	0.0	△ 24.1	△ 37.8	△ 37.8	△ 40.0	△ 23.3
	繊維	△ 14.3	△ 8.3	12.5	△ 11.1	11.1	△ 12.5	△ 50.0	△ 87.5	△ 87.5	△ 75.0	△ 25.0
	印刷	△ 9.1	△ 42.9	△ 10.0	△ 42.9	△ 50.0	△ 10.0	△ 33.3	△ 62.5	△ 75.0	△ 88.9	△ 44.4
	石油・化学	29.4	21.4	43.8	13.3	35.3	△ 14.3	△ 40.0	△ 64.7	△ 17.6	△ 61.5	△ 7.7
	窯業・土石	△ 16.7	△ 11.8	0.0	18.8	13.3	△ 7.1	△ 14.3	△ 57.1	△ 35.7	△ 38.5	△ 23.1
	一般機器	0.0	19.0	47.6	50.0	△ 5.6	△ 40.0	△ 23.8	△ 64.0	△ 64.0	△ 71.4	7.1
	電気機器	8.3	10.0	50.0	12.5	7.7	△ 6.7	△ 11.8	△ 85.7	△ 92.9	△ 37.5	△ 25.0
	輸送用機器	0.0	20.0	50.0	22.7	13.3	△ 23.3	△ 39.1	△ 81.5	△ 74.1	△ 38.5	3.8
	その他製造	△ 11.5	1.9	26.2	25.9	47.6	△ 10.6	△ 20.9	△ 62.5	△ 65.0	△ 48.9	△ 17.8
	大・中堅企業	0.0	15.2	36.8	23.1	8.8	△ 3.1	△ 38.2	△ 74.2	△ 61.3	△ 46.2	23.1
	中小企業	△ 1.3	△ 6.0	20.3	12.1	17.0	△ 15.2	△ 23.1	△ 61.0	△ 57.2	△ 50.7	△ 22.3
	非製造業	△ 2.4	△ 7.9	3.9	△ 2.6	△ 0.8	△ 1.2	△ 18.3	△ 50.8	△ 52.9	△ 45.1	△ 23.0
	建設	△ 7.8	△ 8.1	13.5	5.1	3.5	1.2	△ 12.5	△ 23.0	△ 45.9	△ 34.7	△ 37.5
	不動産	△ 7.1	0.0	21.4	6.3	0.0	△ 6.7	△ 15.4	△ 54.5	△ 54.5	△ 53.8	△ 30.8
	卸売	10.7	△ 8.0	3.6	3.1	10.3	△ 6.3	△ 18.5	△ 63.3	△ 51.7	△ 56.0	△ 12.0
小売	△ 20.6	△ 17.2	△ 21.2	△ 20.6	△ 14.3	△ 2.9	△ 48.5	△ 56.1	△ 53.7	△ 21.4	△ 28.6	
運輸・倉庫	△ 4.0	10.7	8.0	△ 8.8	8.3	3.7	△ 24.1	△ 76.0	△ 64.0	△ 73.3	△ 26.7	
観光・宿泊	28.6	△ 20.8	△ 15.8	△ 22.7	△ 13.6	21.4	10.0	△ 100.0	△ 92.6	△ 78.3	△ 4.5	
サービス	0.0	△ 8.2	7.7	3.8	△ 5.8	△ 8.7	△ 14.9	△ 40.7	△ 37.0	△ 39.6	△ 6.3	
大・中堅企業	△ 6.5	△ 11.8	11.1	5.6	3.1	△ 6.7	△ 3.6	△ 59.4	△ 50.0	△ 48.1	△ 7.4	
中小企業	△ 2.3	△ 7.3	2.9	△ 3.9	△ 1.4	△ 0.5	△ 20.2	△ 49.6	△ 53.3	△ 44.7	△ 24.9	
地場産業	△ 37.5	△ 37.0	△ 16.7	△ 30.4	△ 35.7	△ 53.8	△ 52.0	△ 86.7	△ 77.4	△ 82.1	△ 62.1	
製材	0.0	△ 16.7	△ 37.5	△ 25.0	0.0	△ 66.7	△ 50.0	△ 57.1	△ 42.9	△ 33.3	△ 66.7	
真珠養殖	—	—	100.0	—	—	—	100.0	—	△ 100.0	—	△ 100.0	
真珠加工販売	△ 66.7	△ 16.7	△ 33.3	0.0	△ 60.0	△ 25.0	0.0	△ 100.0	△ 100.0	△ 100.0	△ 100.0	
銑鉄鋳物	△ 33.3	0.0	33.3	33.3	50.0	0.0	△ 75.0	△ 100.0	△ 100.0	△ 100.0	0.0	
萬古焼製造	0.0	△ 25.0	0.0	△ 40.0	△ 20.0	△ 60.0	△ 33.3	△ 100.0	△ 80.0	△ 100.0	△ 33.3	
萬古焼卸売	△ 57.1	△ 87.5	△ 44.4	△ 83.3	△ 77.8	△ 75.0	△ 75.0	△ 88.9	△ 77.8	△ 90.0	△ 80.0	

※地場産業と繊維、印刷はサンプル数が少ないため指数の振れに注意する。—は回答がなかったことを示す。

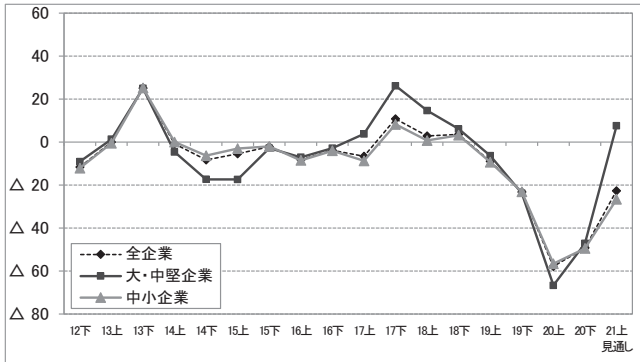


◆企業規模別 …大・中堅企業、中小企業のいずれも今期・来期ともに改善。とくに製造業の大・中堅企業は来期2桁プラスに。

業況判断 BSI を企業規模別にみると、今期は、大・中堅企業 (△47.2)、中小企業 (△49.5) ともに、マイナス幅が縮小した。来期は、大・中堅企業 (+7.5) はプラスに転じ、中小企業 (△26.6) はマイナス幅がさらに縮小する見通し。

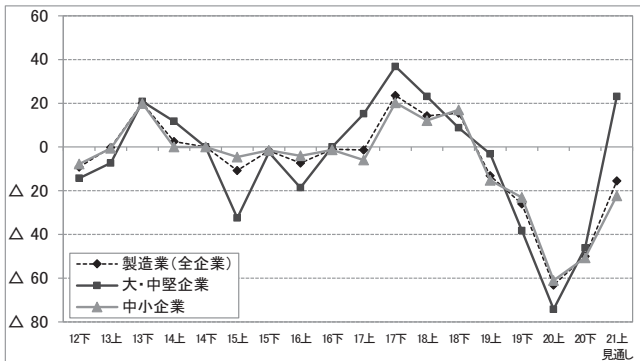
前期は、製造業の大・中堅企業の落ち込みが最も大きかったが、今期・来期ともに改善幅は最も大きくなり、来期は+23.1 と大幅なプラスに転じる見通し。

■業況判断BSI (企業規模別)

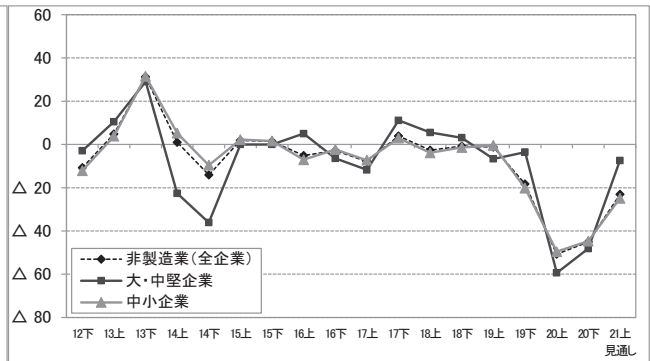


※左図のデータには、地場産業を含む

(製造業・企業規模別)



(非製造業・企業規模別)



◆地域別 …今期、中勢、北勢は改善。来期はいずれの地域も改善見通し。

業況判断 BSI を地域別にみると、いずれの地域も今期・来期ともにマイナスとなったが、とくに南勢地域で落ち込みが大きく、前期とほぼ横ばいとなった。業況判断の厳しい観光・宿泊の割合が高いためとみられる。一方、東紀州地域は比較的落ち込みが小さいが、マイナス幅の小さい建設の割合が高いためとみられる。また、今期マイナス幅が大きく縮小したのは中勢地域、来期マイナス幅が大きく縮小するのは北勢地域となる見通し。

■業況判断BSI (地域別) の推移

	(前回調査時点)										
	16下	17上	17下	18上	18下	19上	19下	20上	20下 (見通し)	20下	21上 (見通し)
全地域	△ 3.6	△ 6.7	10.8	2.9	3.6	△ 8.9	△ 23.3	△ 57.9	△ 56.4	△ 49.2	△ 22.6
北勢地域	△ 8.1	△ 5.8	21.1	7.5	8.4	△ 12.0	△ 33.3	△ 63.6	△ 54.9	△ 55.8	△ 15.3
中勢地域	△ 0.9	△ 10.1	3.4	△ 1.6	2.7	△ 6.5	△ 15.9	△ 61.4	△ 57.5	△ 42.0	△ 28.8
南勢地域	1.4	△ 13.9	△ 17.5	△ 1.5	△ 13.5	△ 4.9	△ 11.1	△ 66.2	△ 70.6	△ 62.7	△ 35.3
伊賀地域	1.8	17.4	23.3	11.1	13.3	△ 8.1	△ 21.3	△ 40.4	△ 53.2	△ 41.7	△ 22.9
東紀州地域	△ 8.1	△ 18.5	4.0	△ 11.8	3.1	△ 6.7	△ 14.3	△ 17.6	△ 38.2	△ 19.4	△ 16.1